

# Database LifeGUARD

導入事例

株式会社ジェーピー情報センター様



## 企業プロフィール

 所在地：東京都中央区日本橋本石町4-4-20  
三井第二別館

TEL：03-3277-7511

社長：林 正晴

設立：1979年4月2日

資本金：1億円（2010年10月1日現在）

社員数：72名（2010年10月1日現在）

※うちパートナー社員数25名

基幹システムを支える膨大な数のネットワーク機器および仮想サーバの稼動状況を一元監視。運用コストの削減と顧客に対するサービスレベルの向上に寄与。

株式会社ジェーピー情報センター（以後、JPIC）は、日本紙パルプ商事株式会社（以後、JP）の情報処理部門が分社化し、1979年に設立されました。JPの大規模な基幹システムを支えつつ、紙卸売ならびに紙物流に関する業務ノウハウを結集したシステムの開発および販売を手がけ、日本全国の200社を超える顧客に提供しています。

## 導入に至る経緯



株式会社ジェーピー情報センター  
取締役 岩澤 仁 様

### 統合監視ソリューションは時代の必然

JPICでは、いち早く仮想化ソリューションの利点に着目し、システムの安定稼動とTCOの削減に向けて積極的に導入を推進してきました。現在、JPの基幹システムと国内の200社を超える顧客に提供している外販システムの多くを、IDCに設置したブレードサーバで稼動する仮想化ソリューション上に集約しています。サーバの増設が手軽に行えるようになった反面、システム全体の稼動状況を見通す仕組み作りが新たな課題として浮上してきました。

### 運用コストを削減し、なおかつサービスレベルを向上させたい

これまでは商用ソフトを用い、主要なネットワーク機器やサーバの監視を行っていましたが、しかし、機能過多で操作が複雑であったり、新たに監視項目を追加するたびにライセンス費用が発生するなどの不満がありました。また、アウトソーシングしていた監視業務を社内の技術者で対応するにあたり、シンプルでスマートなソリューションを求めていました。

## 『Database LifeGUARD』を選んだ3つの理由

### 理由その①：システム全体の稼動状況を可視化できるから

仮想化、クラウドの時代にあって、従来の人手に頼るシステム管理手法ではシステム全体を見通すことが困難になりつつあります。ネットワーク機器、サーバ、アプリケーション、各種データベースの稼動状況を、ひとつのツールで直感的に可視化できるのがいいですね。

### 理由その②：費用対効果とキーゴールのサポート実績が後押し

商用ソフトでは高額なライセンス費用がネックとなり、本当に必要な監視に対しても二の足を踏むことがありました。また、JPICに対する、これまでのキーゴールさんの実績が、OSSであることのサポート面での不安を払拭してくれました。

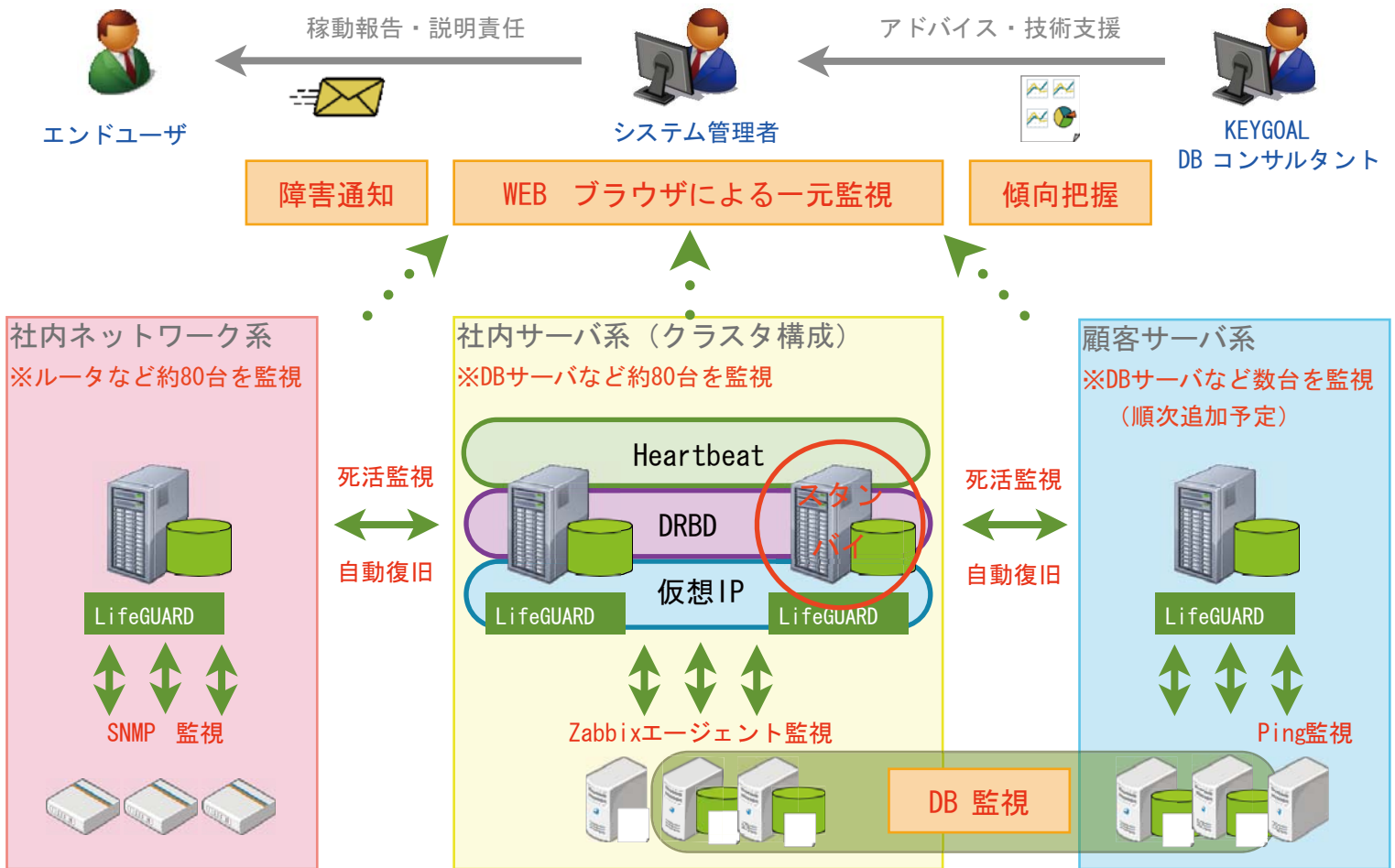
### 理由その③：キーゴールが提供するソリューションだから

JPICが抱える悩みを熟知し、提案の内容が的確でタイムリーでした。これまでの信頼関係をもとに、ともに問題を解決していこうとするパートナーとしての意志が感じられました。そして何よりも、データベースのことはキーゴールさんに任せておけば安心ですから。



株式会社ジェーピー情報センター  
データセンター部  
課長 田中 徳見 様

# JPICが運用するシステム全体を『Database LifeGUARD』で一元監視



## Zabbix (ZABICOM) とは？

**ZABBIX**  
**ZABICOM**  
<http://www.zabicom.com>

Zabbixは、オープンソースのICT運用監視マネジメントシステムです。日本での商標はZABICOMで、開発元のZABBIX SIA社のプレミアムパートナーのNTTコムテクノロジーが、保守サポートと共に提供をしております。当社は、NTTコムテクノロジー社と連携を取り、ワンストップでのサポートをご提供いたします。

NTT ComTechnology  
**NTTコムテクノロジー株式会社**

## 現場の声

### 迅速かつ的確な初動により顧客満足度が向上

『Database LifeGUARD』の導入により、私たちのシステム運用に対する顧客からの信頼感が増し、コミュニケーションの円滑化に一役買っています。まず第一に、リソース不足などの単純な障害を事前に回避できることが大きいです。仮に障害が発生しても即時に検知し、その原因と対応状況を顧客に説明できるので、顧客のみならず、私たちにとっても安心感があります。同じ障害対応でも、顧客から「システムが使えない」等のクレームが上がり、それから障害の箇所と原因を探るのでは、顧客に与える印象が全く違いますからね。



西城 大順 様



斎藤 拓真 様

### システム運用業務の負荷軽減と属人化を回避

障害の原因が、ネットワーク機器、サーバ、アプリケーション、データベースの、どこにあるのかを特定するだけでも、さまざまなツールやコマンドを使い分けたり、サーバの各所に散らばっている各種ログファイルの内容を確認する必要がありました。こうした複雑な手順が必要だったことも、業務の属人化に繋がっていました。システム全体の稼動状況が、統一されたWEBインタフェースによって一元監視でき、誰でも容易に操作が行えるのは大きなメリットですね。